

第23回秋田酒クラブ主催の利き酒会

11月18日ニューヨーク、マンハッタンの日系人会ホールで、“第23回秋田酒クラブ主催の利き酒会”が開催されました。この利き酒会は、日本酒をニューヨークに紹介するイベントとして、秋田ゆかりの会の”秋田酒クラブ“が春と秋、年2回開催しているものです。この会には、岩手の酒も出展され、長年に渡りニューヨーク岩手県人会の有志が、ボランティアで、岩手の酒を宣伝(サーブ)しています。今回は佐々木まり子さん、川崎滋生さんの両名が参加し、おいに岩手の酒を宣伝しました。このイベントは毎回大盛況で当地に定着しています。

佐々木まり子さんからのレポートと写真を紹介させていただきます。

＊ ＊ 全国 14 道府県から、53 種の日本酒が出展され、岩手のお酒は、南部美人から 5 種類、「大吟醸」「純米大吟醸 心白」「純米吟醸 流転」「糖類無添加梅酒」「オール麹」そして、東日本大震災で大きな被害を受けた酔仙の「純米 希望」が出展されました。主催の秋田酒クラブから全体の半分近い 20 種のお酒と、秋田名物のきりたんぽ、いぶりがっこ、比内地鶏などが振舞われ、フルートとギターの演奏をバックに自分専用の「マイお猪口」を持参した多くの日本酒ファンが、舌鼓を打ちながらお気に入りの日本酒を楽しんでいました。＊ ＊



NY 岩手県人会名誉会長・岩崎雄亮さん
からのご投稿(2016.11.19)